

第2回

東武馬車道通り空間形成に関する意見交換会

- ・日時：令和6年7月4日(木)
18:00~19:00
- ・場所：イエローフィッシュ

■ ライトライン駅西側延伸の検討状況

■ 第1回意見交換会のふりかえり

■ 空間パターン

■ 意見交換

■ 今後の進め方

ライトライン駅西側延伸の検討状況

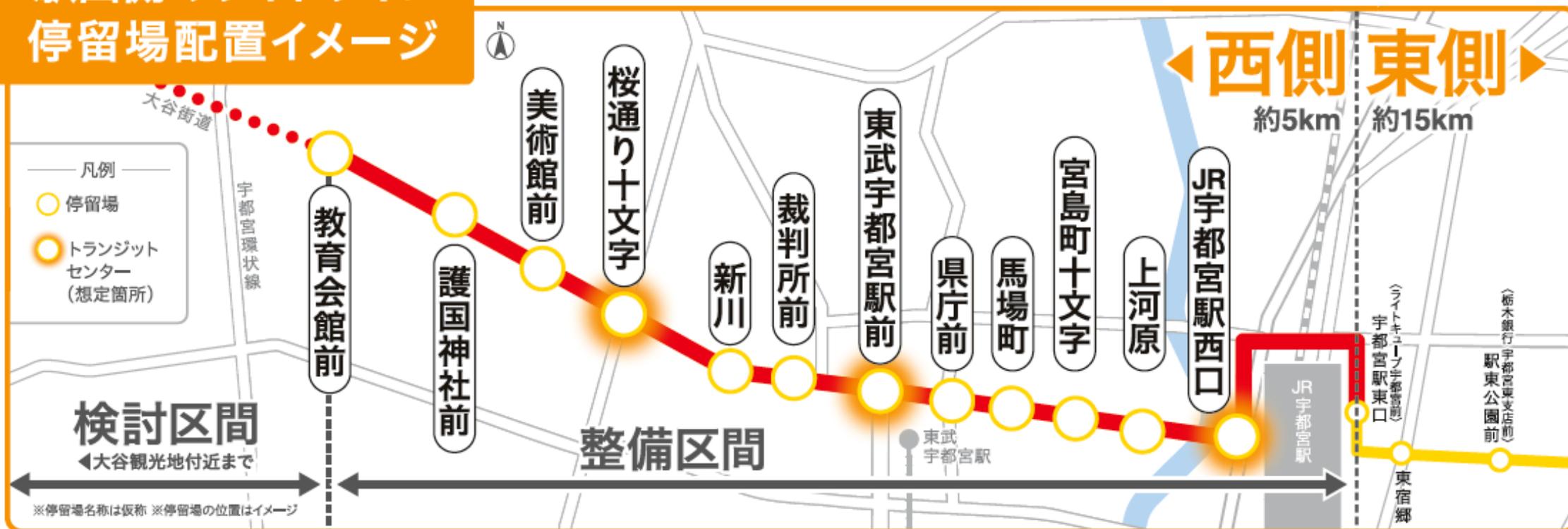


停留場は大通りに12カ所

配置ポイントは ①拠点性 ②停留場の間隔 ③停留場の配置

駅西側のライトライン 停留場配置イメージ

(※停留場位置は、今後詳細に検討。停留場名称は仮称)



ライトライン駅西側延伸の検討状況

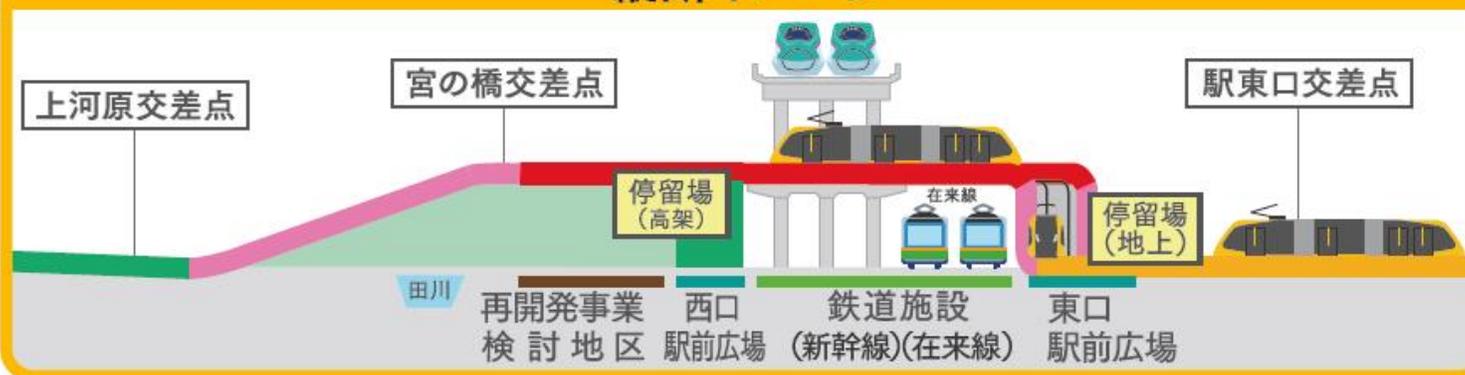


ライトラインは新幹線(3F)と
在来線(1F)の間を通過して、駅西口広場へ

JR宇都宮駅横断選定ルート (写真イメージ)



縦断イメージ





松山市花園町通りは3車線⇒1車線へ再整備
にぎわいと交流が活性化 歩行者通行量は2倍に

- ・松山市駅と城山公園をつなぐシンボルロード
- ・路面電車が道路中央を走り、沿道には中心商店街が立地
- ・再整備後、**歩行者通行量は2倍**になった

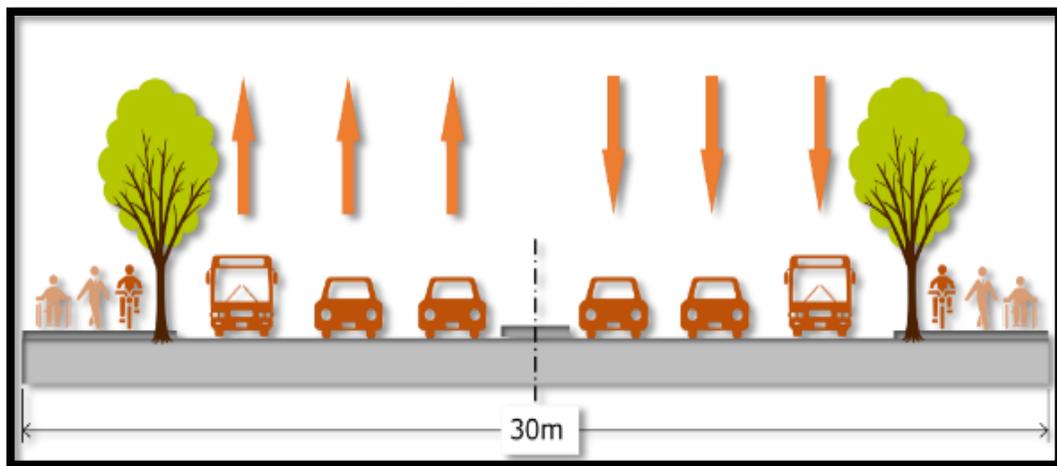




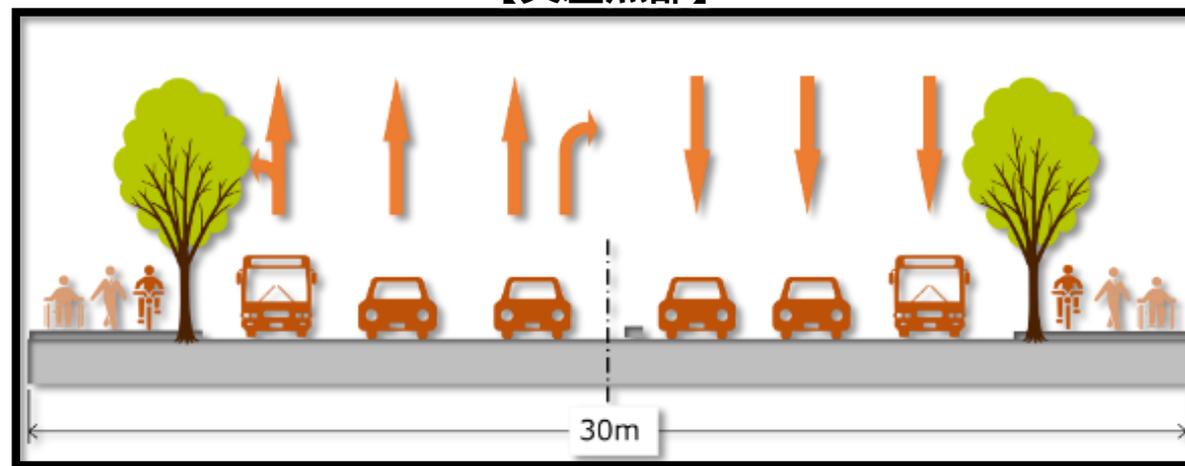
現在の大通りの道路空間は
自動車中心の空間(片側3車線)

<現況>

【一般部】



【交差点部】



- ・ 駅東側の状況を踏まえながら、警察などの関係機関とライトライン導入後の円滑な交通確保に向けた協議を進めている。



歩行者・自転車・自動車・バス等の交通機関など、
さまざまな主体が入り組んでいる



歩行者と自転車が同じ空間
(歩道) を使っている



自動車の走行する空間に
乗降や荷さばきする車両が
駐停車している



バスの走行を優先する時間帯
を設けている



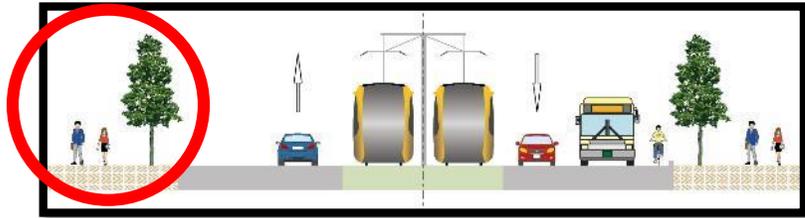
都心部の活性化や交通の円滑化など幅広い視点から
様々な道路空間再編案をもとにシミュレーションを実施中

検討ケース1

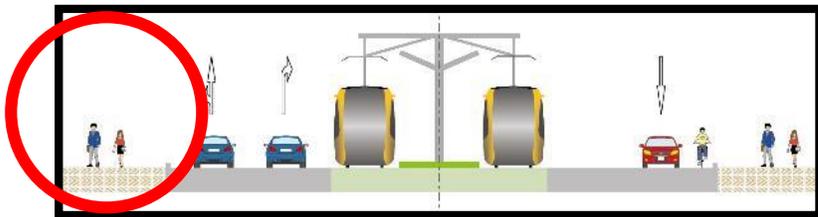
歩きたくなる歩行空間を重視

(計画案：複線2車線) 交差点部

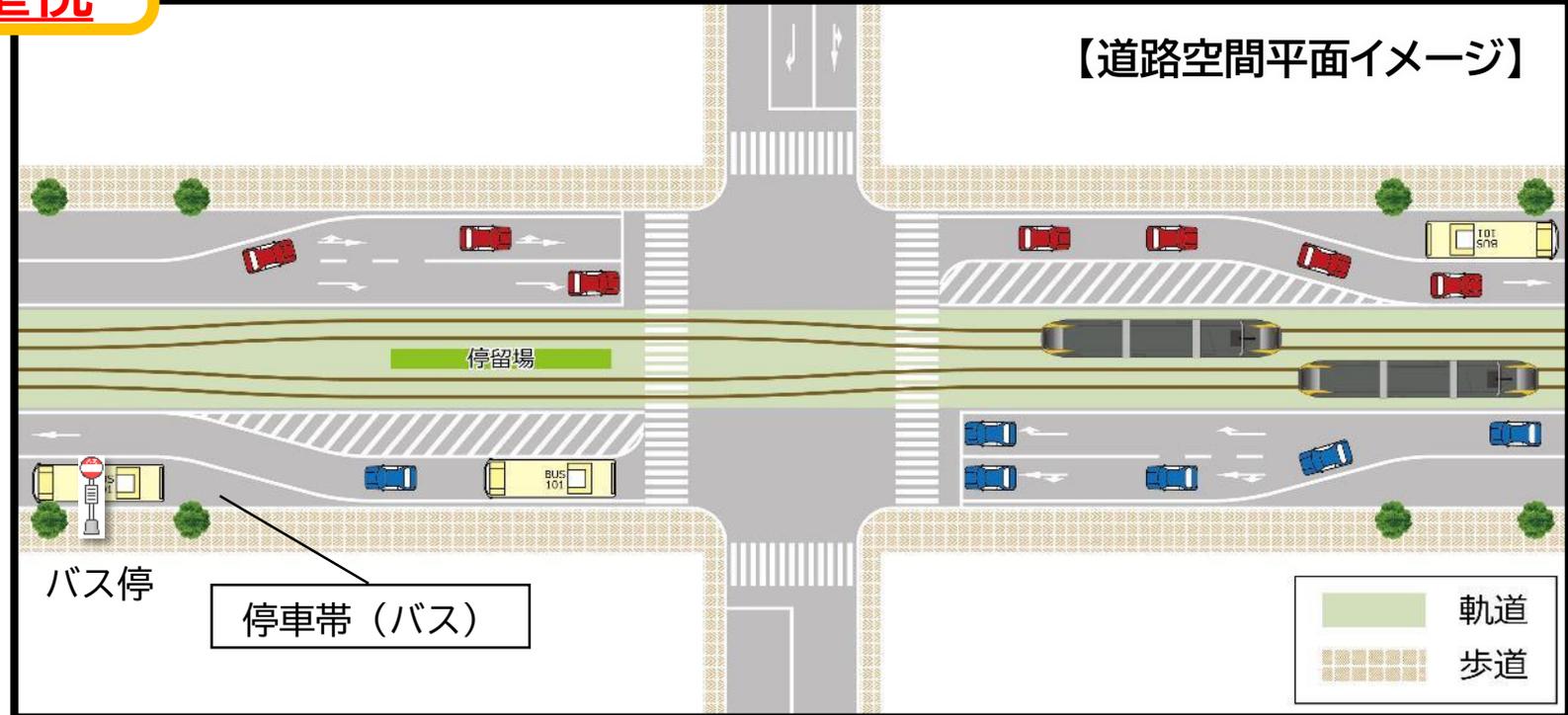
【一般部】



【交差点部】



【道路空間平面イメージ】



※ 幅員や構造等については、引き続き、道路管理者・交通管理者と協議のうえ決定していく。

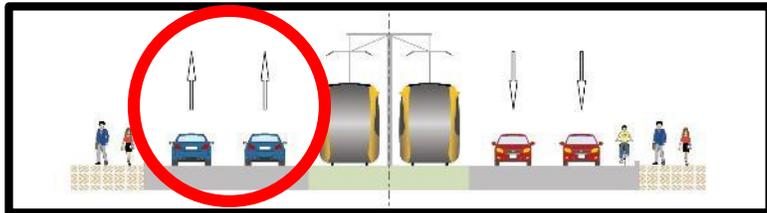


都心部の活性化や交通の円滑化など幅広い視点から
様々な道路空間再編案をもとにシミュレーションを実施中

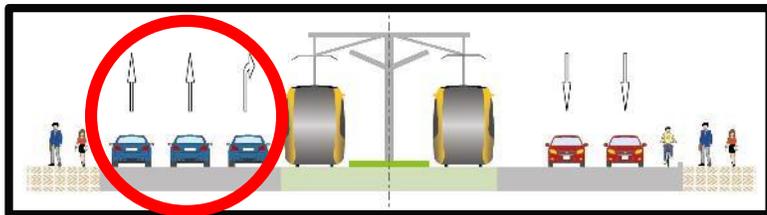
検討ケース2

自動車に配慮

【一般部】

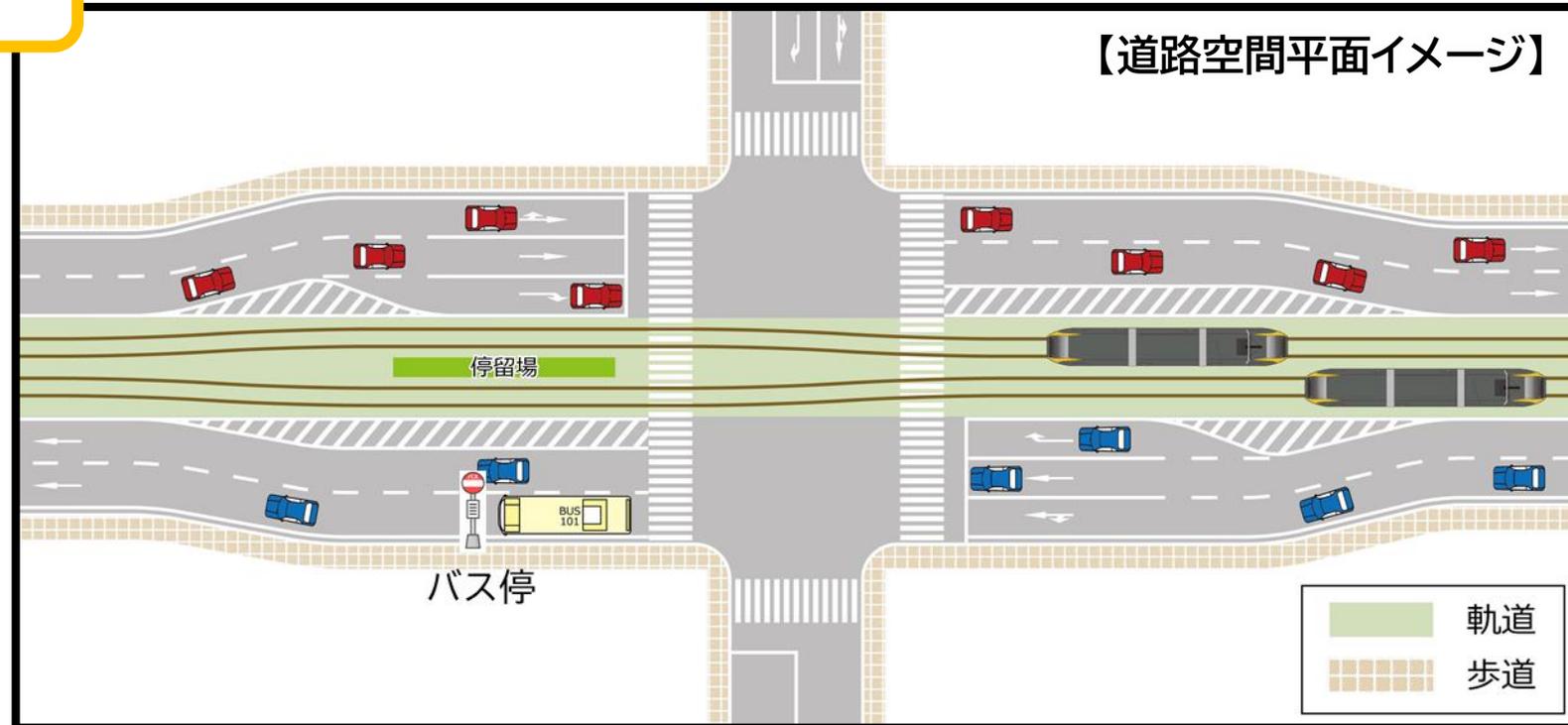


【交差点部】



(計画案：複線4車線) 交差点部

【道路空間平面イメージ】



※ 幅員や構造等については、引き続き、道路管理者・交通管理者と協議のうえ決定していく。



「3環状12放射」の都市の骨格づくりが重要
小幡・清住土地区画整理事業で都心環状線を構成する一部路線を整備中



【小幡・清住 土地区画整理事業】



HELLO, NEW CITY.
宇都宮都市計画事業
小幡清住
土地区画整理事業



大通りの自動車交通が低減するよう
自動車が大通りを通らなくて済む仕組みづくりへ



人中心のまちなかに向けた
交通環境の実現

- ・パークアンドライドによる公共交通利用の促進
- ・自転車利用の促進
- ・まちの外縁部に設置した、「フリンジ駐車場」の整備等



大通りのイベントは
これまで通り開催できるよう検討中

ふるさと宮まつり



菊水祭



ジャパンカップクリテリウム

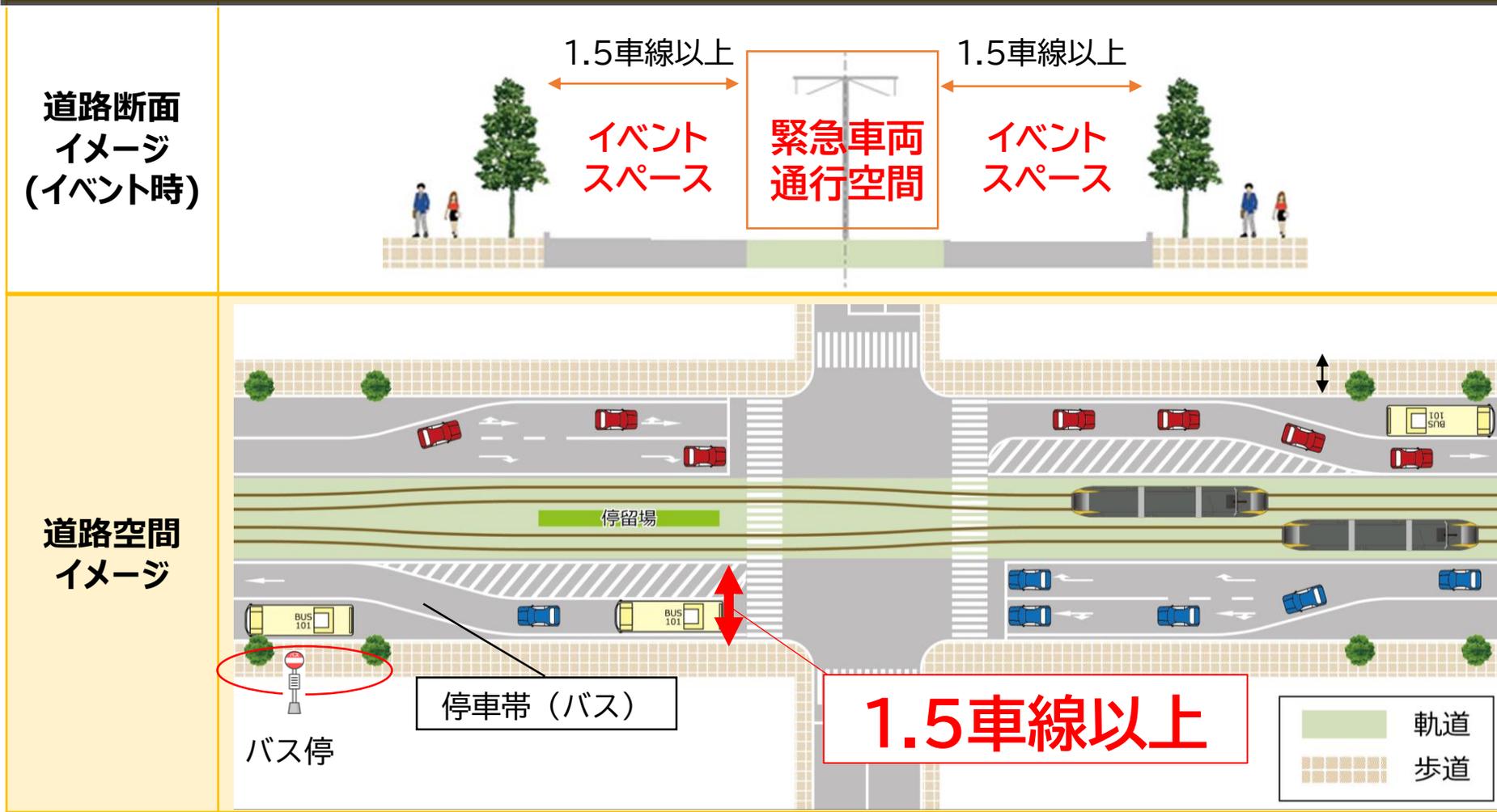


冬渡祭・春渡祭





- ・イベント開催に必要な1.5車線以上の空間を確保
- ・緊急車両通行空間の確保も目指していく



ライトライン駅西側延伸の検討状況



利用状況や交通規制の状況等を踏まえ、荷さばきや駐車場の設置位置や規模の共存を考えていく

大通り1丁目交差点～本町交差点 西進



(仮)上河原交差点～大通り1丁目交差点 東進

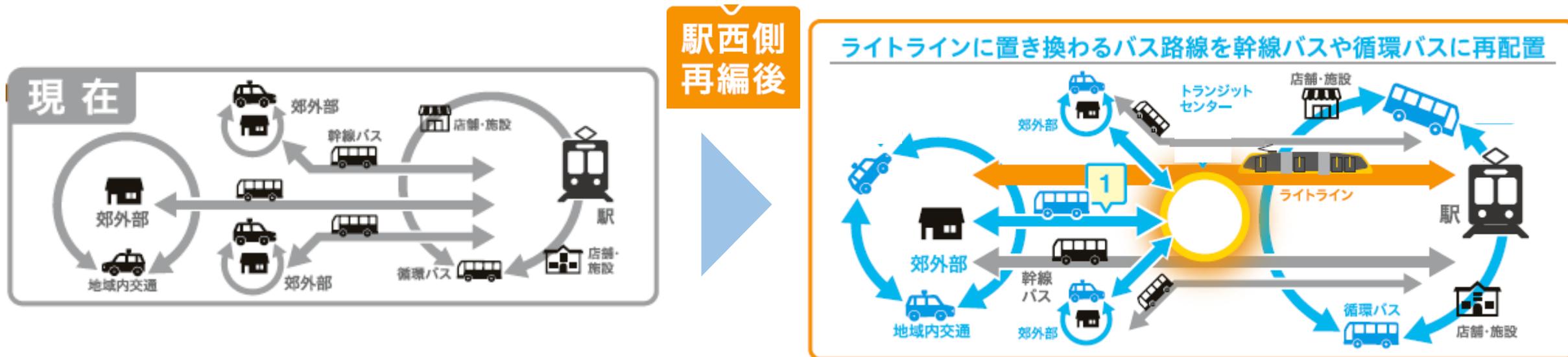


本町交差点～池上町交差点 東進





ライトラインと重複する大通りのバス路線を再配置
階層性のある公共交通ネットワークの構築に取り組んでいく



「郊外部と中心市街地を結ぶバス路線」や

「中心市街地を循環するバス路線」などの充実を検討しています。

現在

各種検討や意見交換

停留場などの道路空間, 生活に密接する歩行空間や荷捌き
など



2025年
年度内

軌道事業の特許申請



2030年代
前半

開業



各種検討・整備を進め
2030年代前半の開業を目指します

令和6年1月31日(水)に第1回意見交換会を行いました！

Point
1

目指す街なかのイメージを共有

→ 宇都宮市が目指しているまちづくり

「人中心の居心地が良いウォーカブルなまちづくり」

Point
2

意見交換会の目的を共有

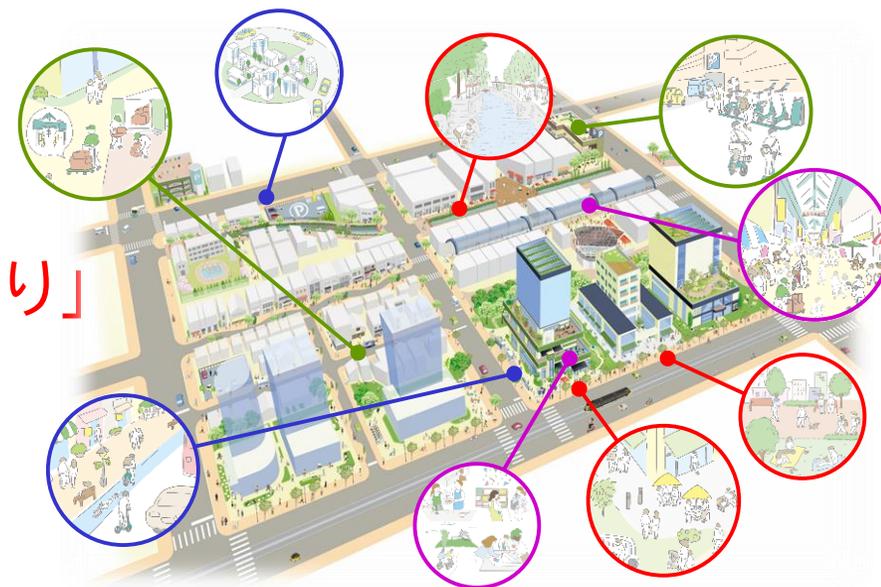
→ 東武馬車道通りの魅力をより高めるための
空間づくりを官民協働で考えていきたい。

Point
3

空間づくりに向けたポイントの共有

→ 乗換え動線や商店街の魅力を高めるために重視すべき空間の使い方
〔空間の要素の具体例〕

歩行者空間, 自転車走行空間, バス停, 滞在空間, 街路樹 など



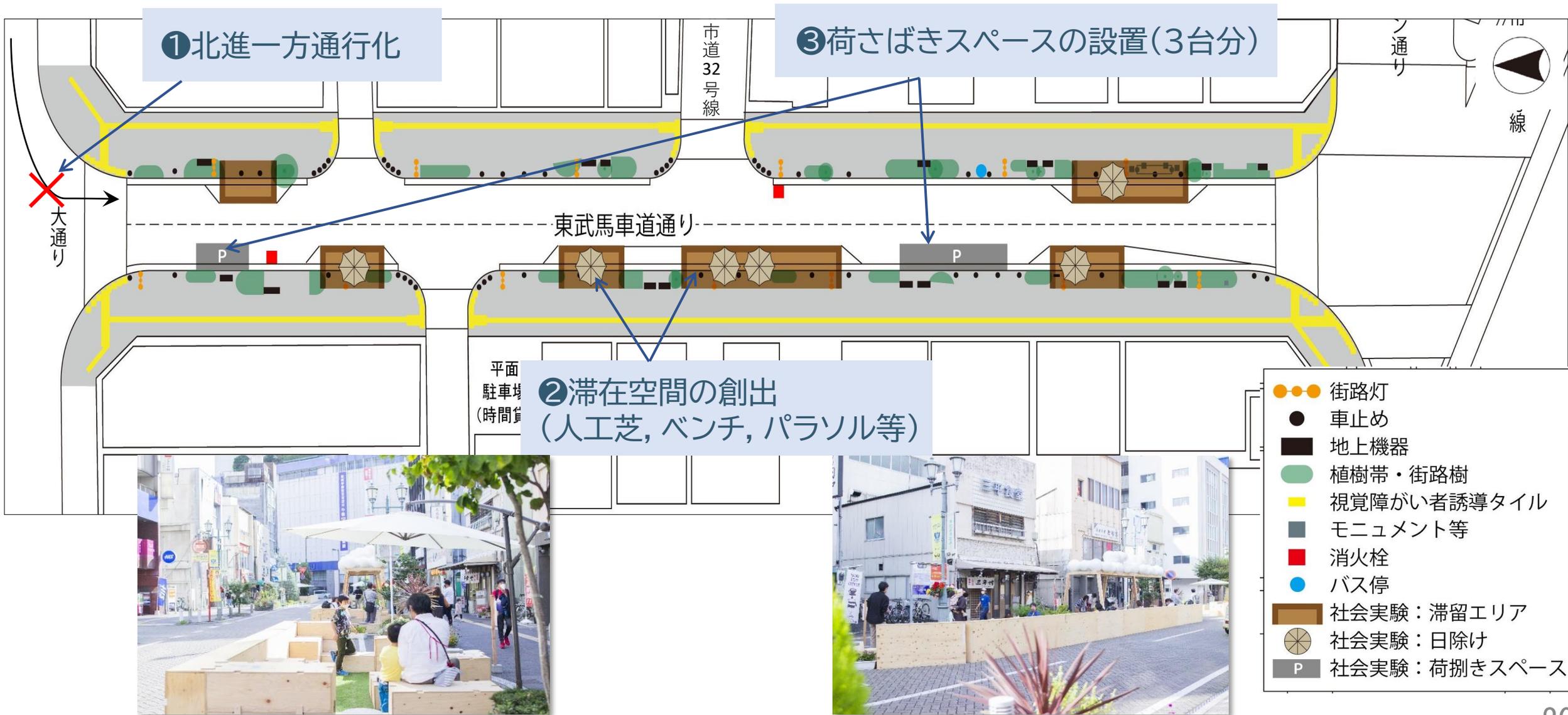
第1回意見交換会のふりかえり

意見交換会では、空間の使い方などのご意見を頂きました！

キーワード		空間形成の視点
交通ネットワーク	市道32号線における自動車アクセスの維持	東武馬車道通りの交通規制変更による影響が大きいのは市道32号線であり、東武馬車道通り再整備にはその沿道商業者の合意形成が重要である。
	市内循環バスの運行	公共交通として、大通りから進入する市内循環バスルートをどのように維持できるかが求められる。
商業環境	荷捌きスペースの確保	営業上、食材などの搬入は必須であり、R4社会実験時の事業者の声は「荷捌きスペースが明確な方が利用しやすい」
	沿道建物の老朽化対策	沿道の建物は老朽化が進行しており、東武馬車道通りの再整備が契機となって、商業者も建て直しや新規出店者の確保にも繋がる手立てを行政とともに検討していきたい。
	治安の良いまちづくり	最近では夜歩くのが不安との声が多いが、治安がいいと自然と人は集まり活気に繋がる。そのためには住民や商業者が協力して美化管理することが大切である。
ウォーカブル	滞留できるまちづくりの実現	<ul style="list-style-type: none"> ・社会実験のような人中心の空間づくりを進める方向性は良い。 ・馬車道通りは通勤通学で素通りが目立つが、それは滞留できる場がないからだと感じている。R4社会実験の滞留スペースは学生、子連れ世代、高齢者などが利用しており、この方々をターゲットにしたまちづくりの可能性を実感している。
	店先を使える魅力づくり	オープンカフェなど店先利用できると、景観づくりも含めて、東武馬車道通りの付加価値が向上する。そのための歩道の点字ブロックの位置変更などを検討してほしい。
	ウォーカブル環境としての屋根の設置	ウォーカブルのためには、鉄道とライトラインの乗り継ぎ移動に配慮して歩道に屋根を設置し、雨に濡れないで歩ける・買い物できることは馬車道通りの魅力づけになる。
事業期間	短い期間での事業展開	ライトライン整備に合わせるよりも効果が早く出せるように例えば3年後に実施といった短いスパンで考えてほしい。

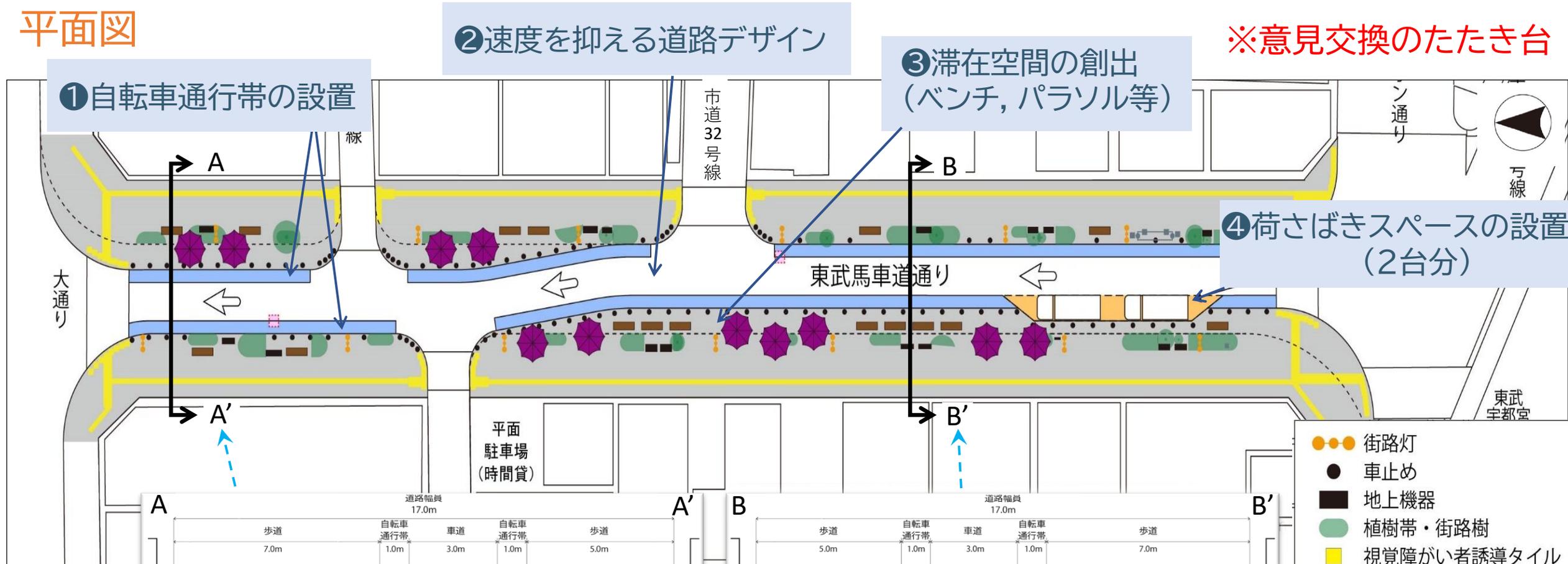
空間パターン①(社会実験時)

平面図

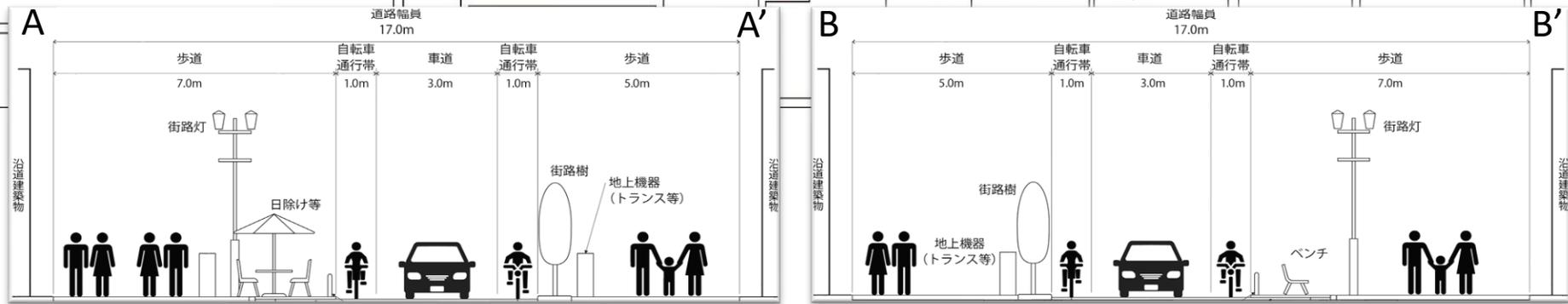


空間パターン②(案)

平面図



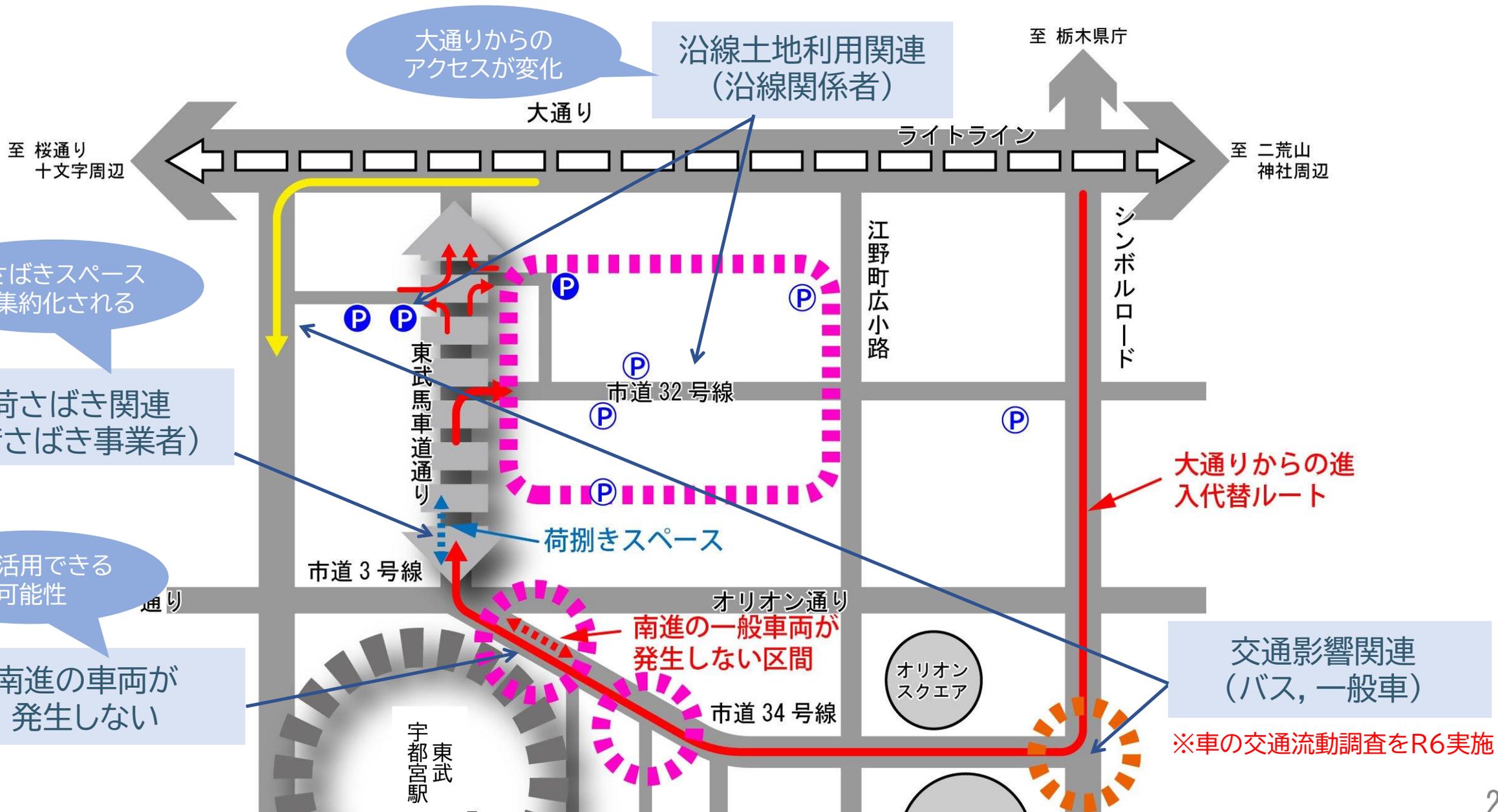
横断図



- 街路灯
- 車止め
- 地上機器
- 植樹帯・街路樹
- 視覚障がい者誘導タイル
- 消火栓 (埋設位置)
- その他施設
- 荷捌きスペース
- 自転車通行帯
- 休憩施設 (ベンチ等)
- イベント施設 (日除け等)

※ 大規模な移設が伴う既設構造物(地上機器, 街路灯, 街路樹など)は既存のものを活用

周辺環境の変化



Point
1

空間パターンに対するご意見

滞在空間や歩行空間, 荷捌き空間などの配置,
どんな使い方をしてもらいたいかなど

Point
2

想定される課題に対するご意見

関係者との合意形成, 説明の機会 など

意見交換を
お願いします！



R6年度

第3回 (11月予定)

- ・交通実態調査などの結果
- ・意見交換等を踏まえた整備イメージ図(VRも活用)

<使う人>

- 荷さばき事業者ヒアリング
(荷さばき施設関係)

第4回 (2月予定)

- ・方針の取りまとめ

<関係機関>

- 交通管理者協議
(交通規制関係)

R7年度以降

- ・周辺エリア関係者(市道32号線沿線など)の合意形成
- ・設計, 整備